

研究課題名	Super Resolution Deep Learning Reconstruction を用いた肝動脈造影下 CT における微細血管の描出能の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2023 年 7 月から 2025 年 7 月の間に、広島大学病院で肝動脈造影下 CT を受けられた患者さん
研究の目的・方法	肝動脈造影下 CT (CT during hepatic arteriography: CTHA) は肝細胞がんの診断や治療に必要な微細血管を評価するために重要な検査です。最近、CT の新しい画像再構成法として、超高精細 CT (通常よりも空間分解能が高いスキャナ) で撮影された CT 画像を教師として深層学習を行うことによって空間分解能の高い画像 super-resolution deep learning reconstruction (SR-DLR) が開発されました。そこで本研究は、SR-DLR によって CTHA の画質がどれだけ改善するかを評価する目的で調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、CT 画像を解析して行います。 カルテから使用する内容は、身長・体重・年齢・性別・肝機能・合併症 (既往歴)・血液データ・画像所見・入院年月日・手術年月日・治療内容です。 (個人を特定可能な情報は解析に使いません)
外部への試料・情報の提供	委託機関への情報 (匿名化された CT 画像) 提供は、特定の関係者以外がアクセスできないクラウド上で共有します。 本研究に関わる CT 画像の再構成業務の一部はキヤノンメディカルシステムズ株式会社に委託します。 委託先：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 住所：栃木県大田原市下石上 1385 番地
利用または提供を開始する予定日	実施許可日 (2024 年 2 月 22 日) より
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 診療支援部 画像診断部門 小鷹狩 賢司 本学の研究機関の長 広島大学理事 田中 純子 業務委託先 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 代表取締役社長 瀧口 登志夫

その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 診療支援部 画像診断部門 担当者：小鷹狩 賢司 栗井 和夫 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5963 (ダイレクトイン：3941)</p>